

# 私が障害福祉サービス事業所で働くようになった訳



## 福祉障害事業所で働く前

私は高校時代に保育士になりたいと考え、大学は保育を学べる大学に進学しました。卒業後の進路は幼稚園か保育園と決めていましたが、施設実習場所として麦の穂に行くことになり、障害者の方と初めて関わることになりました。障害福祉に対する知識もなかったため実習に行くまでは「障害は重たい」というイメージを勝手に持っていました。



## 働き始めると

入社が決まると配属先は大地となりました。麦の穂とは違い大地には多くの支援が必要なご利用者が通っており、そのご利用者とどう関わり、支援していったらいいのか戸惑うことが続きました。また、支援員として適切な声掛けや正しい支援をしていく難しさをととても感じました。



しかし、支援方法や関わり方を教わりながら、毎日を過ごしていくうちにご利用者が伝えたいことがわかったり、コミュニケーションが取れた時は嬉しさや楽しさを共感することができたときは、この職業に就いてよかったと感じました。また、こうした日々の関わり大切さを実感しました。



## これからの私

日々、ご利用者と支援していく中で、たくさん学ぶことがあり、なぜこのご利用者に、この支援が必要なのかをきちんと理解しながら支援することを常に意識しながら、他職員の手本となれるよう頑張ります。

また、今の自分に何ができるかを考え、より工夫した支援も心掛け、今後も、ご利用者が楽しく通ってもらえるように、笑顔を忘れず接していきたいです。



## 所属部署 上司からのひとこと

2020年度は2名の新入社員が入社してくれました。その一人が末さんです。

末さんの仕事を見ていると、本人の持っている雰囲気とその場面の作り方がいいなあ〜と思うことが多く、それは、大地のご利用者にも安心感を与える空気感だと思います。きっと天性のものだと思うので、羨ましいです。(笑)

また、末さんはスポーツマンとして培った強い精神力や忍耐など、福祉職員としても必要なものを鍛錬してきたは

ずなので、ぜひご利用者の支援に生かしてほしいと思います。

これから、ご利用者の支援で迷い悩むこともあるでしょう。渡辺MGRが以前、私に言ってくれた「できないことは恥ずかしいことじゃない。できるようになったときに一緒に喜び、笑い合えることが大切。」この言葉を贈ります。

これからの末さんに望むことは、

- ① 障害に対して正しい理解を深めて欲しい。
- ② 最後までご利用者の話を聴く姿勢を心掛けて、安心感を与える職員になってほしい。(傾聴が自然にできるように・・・)
- ③ 社会人として働くことの大切さや楽しさ・難しさを学んでほしい。

毎日が日々勉強です。いつでもご利用者に寄り添い過ごす時間を大切にして成長してくれるとうれしいです。

大地支援課長 細川 竜太

末 彩香 (すえ あやか) 平成11年生まれ 関東短期大学 令和2年3月卒業  
令和2年4月 社会福祉法人健翔会へ入職  
入職後、健翔会の運営する障害福祉サービス事業所 大地に所属される  
健翔会 大地行田市小見 1144-2 電話：048-555-6166